よこみち レポート

YOKOMICHI JUNKO

2026年 春号 No.7

発行　大阪府議会議員
横道淳子 事務所

〒533-0013
大阪市東淀川区豊里6−29−7　クービル7F
(06)6370−1135(代)
(06)6370−2257



誰もが安心して暮らせる大阪をめざして

～大阪・介護人材育成と多様な福祉ニーズへの挑戦～

2026年2月大阪府議会・定例会 健康福祉常任委員会

3月12日質問



健康福祉常任委員会
詳しくはこちら

YouTubeにより 大阪府議会 広報動画を配信！

大阪府議会のことをより一層知ってもらうため令和7年度から議会中継と併せて**広報動画を配信**しています。
@osakapref_gikai
ぜひご覧ください。



今年度は
大阪府議会×久野静香
大阪府議会ウォッチング

横道府議は
「府民の政治参画を推進しよう」
のテーマに出演しています。

こちらをご覧ください

災害対応医薬品供給 コンテナファーマシーを整備

災害時には被災地に派遣し、医療救護所での医薬品の調剤や供給拠点として、平時は、薬剤師向けの研修等に使用されます。
コンテナはトラックでけん引・運搬できるため必要とされる場所に迅速に設置・撤去が可能。調剤台、分包機、保冷庫、給水・空調設備、発電機など通常の薬局と同等の機能をもっています。**1.16 視察**






■放課後児童クラブの支援員の確保について



Q 登録児童数は増加し、府内全体で約550名の待機児童が発生している現状がある。**支援員確保**などを目的に行っている新事業の具体的な内容と成果は。

A 令和8年度からは、大阪府が設置する「保育士・保育所支援センター」において、放課後児童支援員についても就業支援の対象とすることとしたところ。
今年度は**「放課後児童クラブ魅力発信事業」**を実施している。
福祉系等の大学に訪問し、前向きな反応もいただいている。



■介護人材の受け入れ促進に向けた魅力発信について

Q 今年度「大阪府介護・福祉人材確保戦略2023」の中間見直しにおいて、介護の仕事を知ってもらう取組について、どのような方向性で進めていくのか。

A 特に若年層に対し体験型のイベントによる介護・福祉の魅力発信やインターンシップ等職業体験の場を設ける取組をすすめていく。

要望 有資格者や介護助手だけでなく、**ボランティア**などを通じた多様な人材が現場に入ることも魅力発信のひとつの形であり、**将来的な介護従事者**のすそ野を広げることにつながる。

■がん治療中・後の体力づくりへの支援について



Q がん患者のQOL向上に向け、がん運動専門指導士を活用した**今後の支援体制の展望**について

A 企業連携を通じて、がん治療中・後の日常的な運動機会の創出と支援充実に努める。

要望 科学的根拠に基づいた**運動支援**を通じ、がん経験者が地域で自分らしく生き、**がんと共生できる先駆的な社会**の構築を期待する。

■ケアラー支援について

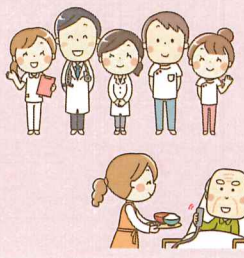
Q ダブルケアラーやビジネスケアラー※への支援には、広域的な連携や労働環境改善のための庁内連携、社会的認知の向上が不可欠である。現在検討中の支援方策にシンポジウムの成果をどう反映させ、今後取り組むのか。

※ダブルケアラー：育児と介護を同時に担っている人
※ビジネスケアラー：仕事を続けながら家族等の介護などのサポートを担っている人

A 「ケアラーシンポジウム」では、多様な立場の登壇者が支援のあり方を議論し、参加者から高い評価を頂いた。今後は**孤立・離職を防ぐための実効性ある支援策の検討を継続し、社会全体で支える**仕組み作りを推進する。

健康福祉常任委員会でのその他の質問項目

1. 大阪母子医療センター建替整備事業入札不調の原因及び今後の対応
2. 大阪精神医療センターの病床の休床及び依存症・認知症に関する取組
3. 新たな地域医療構想について
4. 臓器移植医療について
5. 高次脳機能障がいの支援について
6. 働きやすい職場づくりのモデル事業所育成の戦略について
7. 介護支援専門員研修等に係る負担軽減について
8. 頼れる身寄りがいない高齢者等の課題への対応について
9. 在日外国人無年金高齢者への給付金制度について



大阪府議会議員
よこみち 淳子
横　道　じゅんこ



●プロフィール
公明党府本部青年局次長
大阪市生まれ東淀川区育ち
市立東井高野小学校、市立井高野中学校、
府立山田高校、華頂短期大学、桃山学院大学卒
社会福祉士・介護支援専門員
ソーシャルワーカーとして22年勤務

日々の活動を発信しています！是非ご覧ください！

@YOKOMICHI_JUNKO